

事業所名 縁berry

児童発達支援

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

11月

30日

法人（事業所）理念		・小さな要望にも耳を傾け、心を込めて支援します。・どんな時も明るい笑顔と挨拶を欠かしません。・安心安全な環境作りに努めます。								
支援方針		・明るく：挨拶・笑顔 ・楽しく：達成感・共感する喜び ・元氣よく：心の安定・アットホーム								
営業時間		10時	00分	から	16時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
野	健康・生活	・衛生：石鹸で手を洗う ・排泄：トイレトレーニング（紙パンツ→布パンツ） ・睡眠：早寝早起き ・食事：楽しい時間（座る）								
	運動・感覚	・外：公園広場・遊具・走る・歩く・握る ・室内：バランスボール・トランポリン・ダンス ・感覚：ポーリング・ストラックアウト（力の強弱）								
	認知・行動	・認知：始まりの会（曜日・日にち・お天気）季節：体感温度 ・行動：切り替え（タイマー使用）								
	言語 コミュニケーション	・おはよう・さようなら・ごめんなさいの挨拶 ・「yes」「No」の気持ちを伝える手段（ジェスチャー）								
	人間関係 社会性	・身近な人と親密な関係を築きその信頼関係を通して周囲の人達と安定した関係を形成。 ・公共施設のルールやマナーを覚え、交通ルールなどを学ぶ								
家族支援		保護者会の開催（先輩ママからの就学や困りごと等のアドバイスや経験談）。 夏祭りやクリスマス会等、家族も一緒に参加できる季節の行事の開催。 家族がレスパイトできるよう、社会資源の活用アドバイス。				移行支援		児童の発達段階を把握し、就学先や就労先が適切であるか、保護者や学校等と連携を図りながら支援をしている。本人にとって無理のない環境の提案をしていく。		
地域支援・地域連携		老人ホーム（作品を持っていく、折り紙などの遊びを通じた交流） 商店街（買い物レク、外食レク） 季節のイベントに近隣の方に参加・協力を してもらい事業所の理解を深めていく。				職員の質の向上		外部研修、社内研修、事故報告書、ヒヤリハットの作成を徹底し、再発防止に努めている。1日が終わった後の自分自身の支援の振り返りをし虐待防止に繋げる。ロールプレイを行ないリスク管理をする。		
主な行事等		季節感を感じられる行事を楽しむ（ハロウィン クリスマス 夏の水遊び お月見 等） 公共機関を利用した外出・フードコート等を利用した外食レク。 公共施設（博物館 科学館 水族館等）の利用をし、様々の事を楽しみながら学ぶ。								